

番号	44	道路河川改修記念		
所在地	多久市北多久町小侍			
災害別	昭和28年（1953） 水害（28水）			
目的別	記念碑	建立年	昭和28年9月	
特記事項				



多久市のショッピングセンター駐車場入口角に建つ昭和28年6月水害に伴う道路河川改修記念の碑。円柱形の碑に「昭和二十八年六月大水害 昭和二十八年九月建立」と記されている。しかし、下の台座には、昭和十一年からの道路や河川改修の際の役員氏名、寄附者氏名などが刻まれており、この碑全体が昭和28年9月に建立されたかどうかは不明。

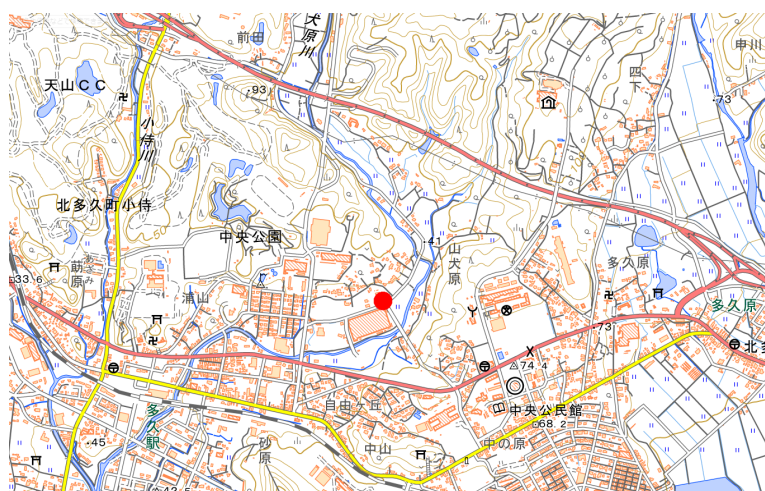
昭和28年の水害では、市の中心部に向かって流れる山犬原川が氾濫。「多久市史」(第6巻集落史編 P1047 平成20年3月 多久市発行)によれば、「昭和二十八年七月、「二八水害」(注: 28水害は一般的に6月25~28日の水害を言うが、7月8~10日、16~18日にかけて豪雨災害があり、記述どおり7月の出来事という事も有り得る。一方、道路河川



改修記念の碑には6月大水害と記されており、誤記の可能性もある）により、当地区の河川と水田形態が大変革の帰路に立った。殊に地区西南部の字「岩の下」約四^{ヘクタール}が、山犬原川の堤防決壊で砂礫に埋もれ、復旧困難となり、宅地化計画によって現在の京町商店街が形成されたので、山犬原区から分離して一連の砂原地区の商業用地に変貌した。河川も決壊した地点からL字型に曲がっていた方線をほぼ直線にして改修された。」と記されている。



山犬原川



国土地理院電子国土 Web



京町商店街